

大國の徳ちうにほや破家するを  
君の恵みなるを成  
電の旅つひを

新代の来るべきを  
 待つに石垣のうしろ

世直一能作書  
いつゝも読も好く  
よるゝの  
かまらるゝ



あへんよ  
「カサレタケ」をのこさぬとぬんてあへん  
ふちのあまごうまけんとさうと  
いふあまごかうがうまあ  
さうとさうわんの

六

过朱

過  
君

り  
る  
まの

子  
な

女

松平の御定成に依りて若水の御定成  
と云ふのめりなむつひうまれうむめう  
おはの御定成つなをまいてと云へるおのむ  
人ゆゑの御定成つなをまいてと云へるおのむ

[illegible]

つとと橋<sup>はし</sup>子<sup>こ</sup>のめ<sup>め</sup>ぢ<sup>ぢ</sup>大<sup>お</sup>終<sup>しま</sup>  
う<sup>う</sup>ち<sup>ち</sup>が<sup>が</sup>え<sup>え</sup>付<sup>つけ</sup>る<sup>る</sup>さ<sup>さ</sup>や<sup>や</sup>け<sup>け</sup>も

おんたんと出立いりだてし  
おんたんとおんたんとおんたんと

今更のほろすゝ梅丸

持て来りて空しく

